

令和 5 年度事業報告

I. 総 括

① 法人の事業経営全般

「第 3 期日田市地域福祉活動計画」の進捗と成果を確認しつつ、本会組織の強化と住民から信頼される社協を目指し各事業に取り組みました。そうした中、長期化したコロナウイルスの影響は地域で展開する福祉活動等にも根強く残されており、感染対策を徹底しつつ、身近な地域での支え合い・助け合い活動が途切れることのないよう地区社協と協働し取り組みました。

② 地域福祉事業部門

新型コロナウイルス特例貸付の償還が始まることにより、今尚、生活が困窮する世帯に対し償還免除や猶予、償還指導等の債権事務を進めました。自立相談支援事業所と協働し借受人の経済状況に応じた適切なフォローアップ支援を実施するなど、生活再建に向けた支援の強化を図りました。また、困窮者支援としてフードバンクを開催し、個人や事業者、団体等から寄せられた食料品等を必要としている方へ提供・支援を実施しました。さらに、日田市から生活支援体制整備事業第 1 層を受託しコーディネーターを 1 名配置しました。第 1 層協議体を形成し、市内におけるサロン活動、居場所などの情報収集、高齢者が生活していく上での課題整理について協議を行いました。これから求められている共生社会の実現に向け行政と共に一体的に実施する基盤づくりに今後努めてまいります。

③ 介護サービス事業部門

介護保険事業におきましては、主に通所介護事業において採算性の確保がとれない非常に厳しい状況にあり 2,000 万円の減収となっています。全ての介護事業において、引き続き利用者の確保に努めながら、今後の介護保険事業の経営の在り方と方針について具体的に精査し検討してまいります。

④ 指定管理事業部門、その他

高齢者生活福祉センターは前津江・上津江 2 カ所の運営を行っており 8 名の方が生活をされています。入居者は前年比 2 名の減少となっています。

保育園運営面では、園児の減少傾向が続いており、前年比 2 名の減少となっています。前津江保育園におきましては、新入園児がいらないことにより令和 6 年 3 月末をもって休園することとなりました。

II. 会務の運営（法人運営部門）

1. 役員会等の開催（予算拠点区分：地域福祉活動推進事業）

会務の適切な運営に向けて経営方針の決定、事業の執行を図るために役員会等を開催しました。

【理事会】 5回

月 日	内 容
第1回 令和5年 6月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案 令和4年度日田市社会福祉協議会事業実績報告 ・第2号議案 令和4年度日田市社会福祉協議会会計収支決算 ・第3号議案 理事・監事候補者の選任について ・第4号議案 評議員候補者の選任について ・第5号議案 評議員選任・解任委員会の招集について ・第6号議案 定時評議員会の招集並びに提出議案について ・その他
第2回 令和5年 6月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案 会長・副会長の選任について ・第2号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任について ・その他
第3回 令和5年 12月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案 令和5年度日田市社会福祉協議会会計第1回補正予算（案） ・第2号議案 評議員候補者の選任について ・第3号議案 評議員選任・解任委員会の招集について ・第4号議案 評議員会の招集並びに提出議案について
第4回 令和6年 2月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案 定款の一部変更について ・第2号議案 評議員会の招集並びに提出議案について
第5回 令和6年 3月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案 令和5年度日田市社会福祉協議会会計第2回補正予算（案）について ・第2号議案 指定管理の変更について ・第3号議案 令和6年度日田市社会福祉協議会事業計画（案）について ・第4号議案 令和6年度日田市社会福祉協議会会計収支予算（案）について ・第5号議案 理事の選任について ・第6号議案 役員等賠償責任保険契約について ・第7号議案 評議員会の招集並びに提出議案について ・その他

【評議員会】 4回

月 日	内 容
第1回 令和5年 6月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案 令和4年度日田市社会福祉協議会事業実績報告 ・第2号議案 令和4年度日田市社会福祉協議会会計収支決算 ・第3号議案 理事・監事の選任について ・その他
第2回 令和5年 12月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案 令和5年度日田市社会福祉協議会会計第1回補正予算（案）
第3回 令和6年 2月27日	<ul style="list-style-type: none"> ※ 書面決議 ・第1号議案 定款の一部変更について
第4回 令和6年 3月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案 令和5年度日田市社会福祉協議会会計第2回補正予算（案）について ・第2号議案 指定管理の変更について ・第3号議案 令和6年度日田市社会福祉協議会事業計画（案）について ・第4号議案 令和6年度日田市社会福祉協議会会計収支予算（案）について ・第5号議案 理事の選任について ・その他

2. 令和5年度 第1回評議員選任・解任委員会

日 時：令和5年 6月20日 10：00
 場 所：日田市総合保健福祉センター 3F 会議室
 出席委員：3名
 議 題：日田市社会福祉協議会評議員の選任について

第2回評議員選任・解任委員会

日 時：令和5年 12月20日 11：00
 場 所：日田市総合保健福祉センター 3F 会議室
 出席委員：3名
 議 題：日田市社会福祉協議会評議員の選任について

3. その他の会議等の開催

- ① 支所長会議（適時開催）
- ② 地区社協連絡協議会（3回 /7月、11月、2月）

Ⅲ. 地域における福祉推進のための事業（地域福祉活動推進部門）

地区社会福祉協議会活動を通して、地域の支え合い活動を推進しました。

また、成年後見制度の普及啓発の促進に向けた市民後見人養成講座の開催や、生活支援体制整備事業推進など、日常生活で支援を必要とする方々への福祉サービスを実施しました。

1. 地域福祉活動推進事業

各地区社協における活動について研修や情報交換等を行うとともに、助成金を交付して活動の支援を行いました。

① 地区社協事業への助成（予算拠点区分：地域福祉活動推進事業）

地域の福祉課題解決のため次のような取組みを地区社協にお願いしました。

事業名	内容	参加者数
1 ミニデイ	高齢者を対象にゲームや健康体操などを通じて、介護予防や社会参加できる場として開催しています。 (令和4年度実績 127ヶ所・925回・8,285名)	138カ所 1,076回 ・ 11,553名
2 子育てサロン	未就園児と保護者を対象に、子育てについての問題や情報を交換・共有する場として開催しています。 (令和4年度実績 17ヶ所・90回・1,622名)	16カ所 124回 ・ 1,827名



ミニデイ



子育てサロン

② 一人暮らし高齢者会食交流会への助成（予算拠点区分：共募配分金事業）

対象：一人暮らし高齢者（地区によっては対象枠を拡げている） 主催：地区社協
内容：参加者の孤独の解消や仲間づくりを図りました。

参加者合計 998人（内、助成対象外0人） 助成額合計 496,114円

*助成単価 一人当たり500円 又は、経費の総額が助成基準を下回る場合はかかった経費分



一人暮らし高齢者会食交流会



一人暮らし高齢者会食交流会

③ 配食サービスへの助成 (予算拠点区分：共募配分金事業)

対象：一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯など 実施者：地区社協、ボランティアグループ
内容：対象者の見守りや食生活の改善を目的に心のこもった弁当や手紙を届けている。

助成実績 4,786食 × @400円 = 1,914,400円



2. 市民健康福祉まつり (予算拠点区分：共募配分金事業)

10月8日(日)に開催。
福祉関係の被表彰者数は以下のとおりです。

福祉関係表彰 ・ 社会福祉事業関係功労賞 25名 ・ 善意篤行賞 4名 ・ 社会福祉事業協力者 1名
・ 自立更生賞 1名 ・ 介護賞 3名
敬老関係表彰 ・ 輝く高年特別賞(100歳)30名 ・ 輝く高年賞 15名
計79名

3. 歳末たすけあい事業 (予算拠点区分：歳末たすけあい配分金事業)

① 歳末たすけあいチャリティーショー
12月9日(土) パトリア日田・大山文化センター (2カ所同時開催)

② 歳末たすけあい事業

高齢者・障がい者・児童等に対して、訪問や福祉事業を実施した地区社協に配分しました。

配分金額：2,000,000円 (20地区社協へ配分)



4. 各種相談事業 (予算拠点区分：地域福祉活動推進事業)

- ・ 日常生活の様々な相談に応じ、適切な助言や他の機関への紹介を行いました。
- ・ 定期的な相談窓口として「心配ごと相談」及び「弁護士による無料法律相談」を実施しました。

相談員：心配ごと相談 …職員
弁護士相談 …弁護士
無料障害年金相談 …社会保険労務士(年金アドバイザー)

開催日：心配ごと相談 …随時対応
弁護士相談 …本所 12回 相談利用者数：86名(男34、女52)
無料障害年金相談 …本所 3回 相談利用者数：9名(男3、女6)

5. 広報・啓発事業 (予算拠点区分：地域福祉活動推進事業)

「社協だより」

地域福祉の啓発と市社協事業(主に地域福祉事業)への理解と協力を得るため、広報紙を年6回発行し、市内全戸に配布しました。

6. 生活福祉資金等の貸付事業 (予算拠点区分：地域福祉活動推進事業)

① 生活福祉資金の貸付

9件 3,941,000円

② 緊急援護資金

貸付件数 3件 貸付額 15,000円

※生活に困窮し緊急の支援を必要とする者を一時的に援護することを目的として1世帯につき5,000円を限度額とし貸付を行うものです。

7. ボランティア活動の推進

ボランティア活動に対する市民の関心を高め、ボランティア活動への参加・情報提供に努めました。

① ボランティア連絡協議会 (予算拠点区分：地域福祉活動推進事業)

活動費の助成(200,000円)を行い、ボランティア連絡協議会の活動を支援しました。

② 地域ボランティア (予算拠点区分：地区社協活動支援事業)

福祉委員 565名

※福祉委員とは

地域の福祉活動を推進していくために、市社協会長から委嘱された地域のボランティア。活動の場所は、自分の住んでいる町内を主に、地区を一つの単位としています。要援護者(一人暮らしの高齢者等)に対する支援の必要性や地域の福祉課題などを早期に発見して、その解決のために民生・児童委員などと協働しています。

福祉委員全体研修会の開催

パトリア日田・大山文化センター (2カ所同時開催)

期日 6月17日(土)

参加者 313名



③ 住民参加型在宅福祉有償サービスの支援 (グループの単独会計)

住民参加型在宅福祉有償サービスグループ(日田ハートクラブ、事務局市社協)が、支援を必要とする高齢者を対象に、有償(30分300円)で家事支援を行いました。

年間延活動件数 551件 利用会員数 27名 協力会員数 16名

4年度 件数 477件 利用会員数 27名 協力会員数 17名

④ 買い物支援事業の実施 (予算拠点区分：共募配分金事業)

移動手段が限られ、買い物に不自由を感じている方々のために、買い物支援サービスを実施しました。(4月～12月)

場 所：中津江村 鯛生地区

回 数：37回

利用延人数：247名

場 所：上津江 平藪・程野・川原・葉迫地区
 回 数：45回
 利用延人数：333名



8. 福祉教育 (予算拠点区分：共募配分金事業)

① 日田市内の小学校・中学校・高校を対象にボランティア協力校として指定しました。

小学校 10校
 中学校 9校
 高校 2校
 合計 21校

市内の学校に出向き福祉体験出前講座を実施しました。



9. 障害者社会参加促進事業等 (予算拠点区分：障害者総合支援事業)

市民に手話や点字を理解してもらい、視覚障がい者や聴覚障がい者の社会参加の促進に努めました。

① 手話奉仕員養成講座 8名修了
 令和4年度修了者数 14名修了

手話ステップアップ養成講座 7名修了

② 点字講座 一般講座 1名修了
 令和4年度修了者数 5名修了

③ 市報・社協だより等の点訳奉仕の支援
 社協だより 年6回(奇数月) 市報 年12回(毎月1日号) その他

④ 市報の音訳奉仕の支援
 社協だより 年6回(奇数月) 市報 年24回(毎月1日、15日号)その他

⑤ 障害者スポーツ教室等開催事業
 ふうせんバレー教室を開催した。(参加者延120名)



10. 福祉人材バンク・高齢者無料職業紹介所事業 (予算拠点区分：地域福祉活動推進事業)

福祉職を求める方と求人する事業者との間に立ち、職業を斡旋し、福祉人材の確保に努めた。また、高齢者の職業斡旋を無料で行いました。

- ① 福祉人材バンク・有効求人数 89 人・紹介数 2 人・就職数 2 人
- ② 高齢者職業紹介・求人数 4 人・就職数 4 人
- ③ 福祉と保育のしごと就職フェア 8 月 12 日
- ④ ハローワーク出張相談 第 2・4 火曜日 13:00～15:00



11. 生活困窮者自立支援事業 (予算拠点区分：地域福祉活動推進事業)

様々な理由で生活にお困りの方に対し、課題を解決し生活の安定と自立を目指すために本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施しました。

(自立相談支援事業・就労準備支援事業・家計改善支援事業・ひきこもりサポート事業)

拠 点：「ひた生活支援相談センター」日田市役所1階

職員体制：主任相談支援員 1 名、 相談支援員 1 名、

就労支援員 1 名、 就労準備支援員 1 名、 計 4 名体制

相談者数 : 新規相談者数 145 名 (延 1,048 名)

4 年度相談者数 202 名 (延 1,772 名)

(収入、生活、仕事に関する相談が多い。)

就労準備支援セミナーの開催

社会に出ることに不安がある、人とのコミュニケーションが出来ないといった理由ですぐに職に就くことが難しい方を対象にプログラムに沿ったセミナーを開催した。

期 日：令和 5 年 6 月 21 日～令和 5 年 9 月 27 日 (14 回開催)

参加者：30 代～50 代までの男性 10 名参加 (延参加者 67 名)

内 容：職場見学・就労体験

ビジネスマナーの習得

面接体験・履歴書の書き方

体力作り等

終了後：一般就労 2 名 B 型作業所 1 名 就労体験中 1 名

継続支援 6 名



12. 生活支援体制整備事業 (予算拠点区分：地域福祉活動推進事業)

(第 1 層)

高齢者が可能な限り住み慣れた地域で在宅生活を維持できるよう、地域住民相互の支え合い活動を推進する生活支援コーディネーターを配置し、地域における生活支援サービス提供体制の基盤整備に努めました。

職員体制：生活支援コーディネーター 1 名 (第 1 層)

主な取組：地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起

：関係機関のネットワーク化

：生活支援の担い手の育成・研修の実施



(第2層)

生活上何らかの支援が必要な高齢者等が、生活上の支援が必要な状態となっても地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域で高齢者の生活を支える体制づくりの推進に努めました。

- 職員体制 : 生活支援コーディネーター2名 (第2層)
- 主な取組 : 生活支援体制整備事業における周知活動
- : ニーズ把握のためのアンケート調査の実施
- : 社会資源の把握、関係機関との情報共有・連携
- : 支え合いサポーターの養成

IV. 福祉サービス利用援助事業 (福祉サービス利用支援部門)

日常生活上の様々な課題を抱えている住民に対して自立支援の充実を図るとともに、関係機関・団体との連携を深め、事業の円滑な推進に努めました。

1. 成年後見制度法人後見支援事業

(予算拠点区分: 福祉サービス総合支援事業)

高齢者や障がい者の意思能力や生活状況に応じて成年後見制度を活用し、財産管理や身上監護を中心とする権利擁護体制の構築に努めました。さらに、後見人等の活動に必要な知識を習得し、権利擁護、地域福祉の担い手となる市民後見人として活動できる人材を養成することを目的に養成講座を実施しました。

- ① 相談延件数 124 件
- ② 類型 後見 5 保佐 4 補助 4 保佐監督人 1 受任件数 14 件
- ③ 市民後見人養成講座の開催
 - 開催状況
 - 基礎講座 令和 5 年 8 月 26 日～11 月 25 日 7 日間 (10 講座)
 - 実務講座 令和 6 年 1 月 27 日～ 2 月 24 日 3 日間 (3 講座)
 - 受講者数 7 名 修了者数 2 名



2. 日常生活自立支援事業【あんしんサポートセンター日田】

(予算拠点区分: 福祉サービス総合支援事業)

判断能力が低下した高齢者や知的障害・精神障害のある方が、安心して生活できるよう、生活支援員が定期的に訪問し、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、日常生活上の手続援助、書類等の保管を行いました。

支援	実施延件数	640 回	利用契約者	33 名
4 年度	実施延件数	626 回	利用契約者	31 名

3. 地域包括支援センターブランチ (予算拠点区分: 介護保険事業)

合併周辺地域 (3 津江管内) において、高齢者、障がい者や子育て世帯など地域住民から総合的な相談を受けました。

連絡会議の開催	1 回					
相談延件数	前津江支所	53 件	中津江支所	65 件	上津江支所	83 件
4 年度 相談延件数	前津江支所	95 件	中津江支所	60 件	上津江支所	57 件

V. 介護保険関連事業（在宅福祉サービス部門）

利用者の尊厳の保持を徹底し、自立支援を目的とした介護保険事業、障害福祉サービス事業、障害者地域生活支援事業、介護予防・生活支援事業を一体的に展開し、在宅福祉事業の増進に努めました。

1. 介護保険事業 (予算拠点区分：介護保険事業)

① 居宅介護支援事業

要介護状態の高齢者が必要とする介護サービスを受けられるよう、適切な援助を行った。
本所、上津江支所、大山支所、天瀬支所

<u>年間総利用者</u>	1,292人
<u>4年度利用者</u>	1,754人

② 介護予防居宅介護支援事業

要支援状態の高齢者に介護予防サービスを受けられるよう、適切な援助を行った。
本所、大山支所、天瀬支所

<u>年間総利用者</u>	277人
<u>4年度利用者</u>	446人

③ 訪問介護事業

利用者の居宅において、身体介護・生活援助のサービスを提供した。
本所、上津江支所

<u>年間総派遣回数</u>	5,278回
<u>4年度派遣回数</u>	5,534回

④ 通所介護事業

利用者に対して通所の機会を提供し、レクリエーション活動の他、身体状況チェック、入浴、給食、機能訓練のサービスを提供した。
前津江支所、上津江支所、大山支所、天瀬支所

<u>年間総利用者</u>	7,803人
<u>4年度利用者</u>	9,397人

⑤ 福祉用具貸与事業 *本所のみ実施

電動ベッド、車椅子等の福祉用具を貸与した。

貸出中台数：	電動ベッド 16台	車イス 17台	（令和6年3月末現在）
4年度 貸出中台数：	電動ベッド 17台	車イス 19台	

2. 介護予防・日常生活支援総合事業

介護保険制度において、市町村が各地域の状況に応じて取り組むことができる地域支援事業です。

2015年度の介護保険法改正で、認定を受けている軽度者（要支援1・2）は、市町村ごとの独自事業としてサービスが実施されています。

①居宅介護支援事業（ケアマネジメントA）

日常生活支援総合事業によるサービスが適切に提供できるようケアプランを作成。

本所、大山支所、天瀬支所	<u>年間総利用者</u>	115人
	<u>4年度利用者</u>	180人

②訪問型サービス事業（基準型）

居宅において訪問介護員による身体介護及び生活援助サービス。

本所	<u>年間総派遣回数</u>	2,264人
	<u>4年度派遣回数</u>	2,768人

③訪問型サービス事業（A型）

居宅において訪問介護員による、身体介護を除く生活援助サービス。

本所	<u>年間総派遣回数</u>	557人
	<u>4年度派遣回数</u>	698人

④通所介護サービス事業（基準型）

機能訓練（個別機能訓練）及び運動等を提供し、生活機能の改善・回復を主としたサービス。

前津江支所、上津江支所、大山支所、天瀬支所	<u>年間総利用者数</u>	2,544人
	<u>4年度利用者数</u>	1,921人

⑤通所介護サービス事業（A型）

運動、参加者同士の交流及びレクリエーション等を提供し、生活機能の維持を主としたサービス。

前津江支所、上津江支所、大山支所、天瀬支所	<u>年間総利用者数</u>	1,133人
	<u>4年度利用者数</u>	1,011人

⑥生きがいサロン事業

社会的孤立感及び自立生活の助長を図ることを目的としたサービス。

前津江支所、中津江/上津江支所、大山支所、天瀬支所	<u>年間総利用者数</u>	1,280人
	<u>4年度利用者数</u>	1,596人

3. 障害者自立支援事業、地域生活支援事業・その他

(予算拠点区分：障害者総合支援事業)

① 障害福祉サービス事業 (国の定める事業)

障害者・児に対し、下記のサービスを提供した。

ア 居宅介護事業 イ 同行援護事業 ウ 生活介護事業

年間総利用者数 2,643 人

4年度利用者数 2,507 人

② 障害者地域生活支援事業 (市町村の定める事業)

障害者・児に対し、下記のサービスを提供した。

ア 外出サポート事業

年間総利用者数 448 人

4年度利用者数 313 人

③ 外出支援サービス事業

前津江支所のみ実施

年間総利用者数 0 人

4年度利用者数 0 人

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業を中止。

VI. 施設管理運営事業 (指定管理部門)

指定管理者として公益の増進のために適正な目標を持ち、地域住民に支持され協力が得られるように、公正な管理運営に取り組みました。

1. 保育園運営事業 (予算拠点区分：保育園運営 (指定管理) 事業)

保育園児の状況 (令和6年3月1日現在)

まえつえ 保育園 3名 *前年比 -4

おおやまこども園 43名 *前年比 +2

園児数 46 人

4年度園児数 48 人

病後児保育事業 (おおやまこども園)

子供が病気の時や病気の回復期で、家庭で保育が出来ない時に、保育士や看護師が保護者に代わって、子供の状態に合わせた適切な保育と看護を行う事業です。

病後児保育延利用者数 6 名

4年度利用者数 6 名

2. 高齢者生活福祉センター (生活支援ハウス) 運営事業

(予算拠点区分：高齢者生活支援ハウス (指定管理) 事業)

令和6年3月末時点 () は定員数

① 日田市前津江高齢者生活福祉センター (10名) 入居者数 7名

② 日田市上津江高齢者生活福祉センター (10名) 入居者数 1名

Ⅶ. その他の部門

1. トレーニング指導及びプール監視事業 (予算拠点区分：トレーニング指導・プール監視事業)
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、プールについては、全月、休業としています。

トレーニング年間延利用者数	7,551人	プール年間延利用者数	0人
4年度延利用者数	7,723人	4年度延利用者数	0人

2. 介護予防自主事業 (予算拠点区分：その他の地域福祉推進事業)

元気で自立した生活を送るために介護予防教室(身につけよう運動習慣塾)を開催しました。
1講座(10回)×年3回 年間登録者数：20人

3. 納骨堂管理事業 (予算拠点区分：地域福祉活動推進事業)

昭和37年8月に竹田公園内に建立した納骨堂の納骨の状況は次のとおり。
なお、盆及び彼岸には納骨堂を開扉して供養を行いました。

令和5年度末納骨数(延) 204体 (前年比+5体)

4. 各種団体への支援事業 (予算拠点区分：地域福祉推進事業)
(予算拠点区分：共募配分金事業)

各種団体へ事業費を助成しました。

日田市民生委員児童委員協議会	日田市盲人協会
日田市ボランティア連絡協議会	日田断酒会
日田市老人クラブ連合会	日田市手をつなぐ育成会
日田市身体障害者福祉協議会	
日田市母子寡婦福祉会	計 1,240,000円

5. 災害備蓄倉庫と資機材の管理 (2019年度年賀寄付金配分事業)

災害ボランティアセンターの早期設置と利便性の向上を目的とし資機材の点検、整備の徹底。

設置数：2棟
設置場所：日田市田島2丁目229番地1
資機材：発電機、高圧洗浄機、乾湿両用掃除機、大型扇風機等の整備

6. 災害ボランティアセンター設置訓練の実施

被災した地域に速やかにボランティア派遣が行えるよう災害ボランティアセンターの模擬設置訓練を行ないました。

期 日：令和5年6月11日（日）
場 所：日田市総合保健福祉センター
参加者：31名
（日田市災害ボランティアネットワーク連絡協議会会員）



7. 日田市緊急災害支援事業の実施

令和5年7月豪雨により被災した地域を支援するために、災害ボランティアネットワーク連絡協議会を通して災害ボランティアを募集し支援活動を行いました。

開設期間：令和5年7月13日～8月20日（小野公民館）
派遣日数：11日間
派遣世帯：62世帯
派遣ボランティア数：532名（延）
作業内容：家屋の泥だし、家財道具の搬出、
災害ゴミ搬出、家屋の掃除等



8. フードバンクひたの取組

生活困窮者やひとり親家庭など、何らかの理由で十分な食事をとることが出来ない状況の方々への支援を目的に、家庭で使い切れない未使用食品等の寄付を募りました。集まった品物はフードパントリーを実施してお渡しすることができました。

1. フードドライブ（寄付活動）

（米、レトルト食品、調味料、その他日用品（洗剤、食品用ラップ等）

- | | | | |
|-------|--------|-----|--------------------|
| ① 開催日 | 11月26日 | 寄贈者 | 42名・6団体（総重量 969kg） |
| ② 開催日 | 3月17日 | 寄贈者 | 18名・3団体（総重量 273kg） |

2. フードパントリー（無料配布会）

- | | | | |
|-------|--------|-----|-------|
| ① 開催日 | 12月24日 | 配布者 | 100世帯 |
| ② 開催日 | 4月30日 | 配布者 | 120世帯 |

3. ライスパントリー

- | | | | |
|-------|-------|-----|------|
| ① 開催日 | 7月30日 | 配布者 | 44世帯 |
| ② 開催日 | 12月3日 | 配布者 | 59世帯 |
| ③ 開催日 | 1月28日 | 配布者 | 65世帯 |

4. 困窮者への食料等の支援（通年） 配布者 93世帯



9. 心身障害者福祉事業

(予算拠点区分：介護保険事業)

介護保険非該当者に、電動ベッド、車いすの貸出を行いました。

機器名		令和5年度末現在 利用者数
1	電動ベッド	90人
2	車椅子	40人

◆料金

電動ベッド (月) 500円

車椅子 (月) 200円

10. 寄附金、会費の状況

(予算拠点区分：地域福祉推進事業)

① 寄附金年度別採納状況

(単位：円)

年度	香典返し寄附金		一般寄附		物品寄附		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
令和5年度	62	2,812,000	20	940,536	9	360,000	91	4,112,536
令和4年度	72	2,990,000	21	582,991	9	850,000	102	4,422,991

② 社協会費年度別収納状況

一般会費は、市社協が行う事業費に充てられます。特別・法人・特別協賛会費は、4年度より各地区社協に直接収納としています。

(単位：円)

年度	一般会費 (1口200円)	特別会費 (1口1,000円)	法人会費 (1口2,000円)	特別協賛会費 (1口10,000円)	合計
令和5年度	4,215,020	0	0	0	4,215,020
	21,162口	0口	0口	0口	21,162口
令和4年度	4,229,525	0	0	0	4,229,525
	21,241口	0口	0口	0口	21,241口